

柏市公共下水道事業再々評価

(手賀沼処理区)

平成20年11月

千葉県 柏市

柏市の概要(1)

- 本市は、千葉県の北西部に位置し、千葉市から約30km・東京から約30kmにある。
- 北部には利根川や利根運河、東部には手賀沼、そして中央部には大堀川・大津川があり水が豊富である。



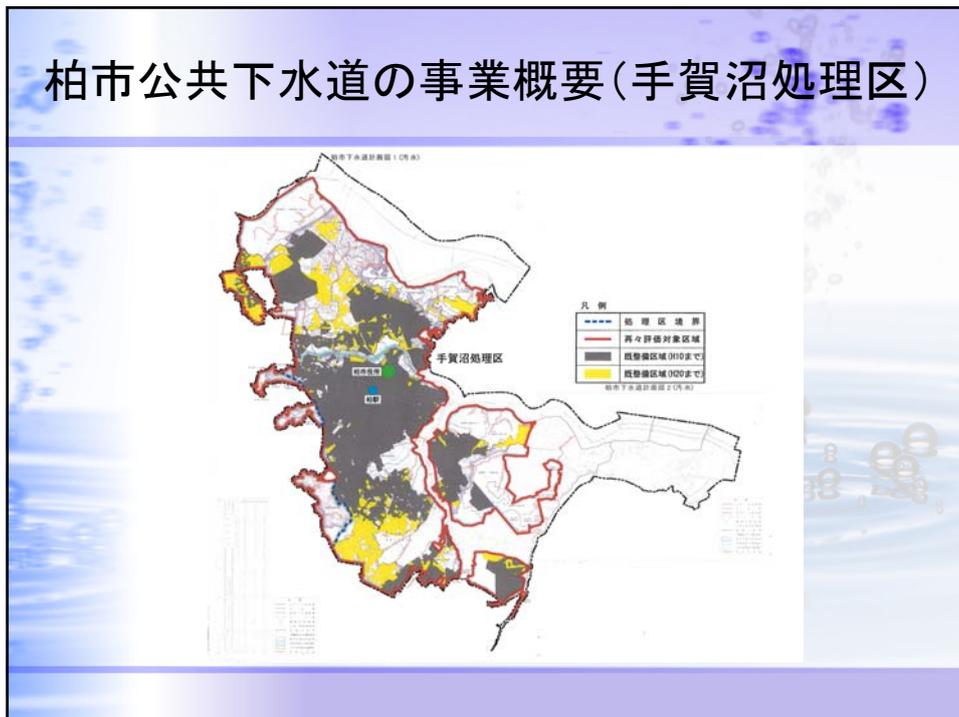
柏市の概要(2)



事業の必要性(手賀沼処理区)

- 居住環境の改善
身近な水路に汚れた排水が流れ込まず、良好な町並みが形成されます
トイレが水洗化され、衛生的で快適な生活が実現します
- 公共用水域の水質保全
手賀沼や大堀川・大津川等の水質がきれいになります

柏市公共下水道の事業概要(手賀沼処理区)



指標1 費用効果分析(手賀沼処理区)

処理区名	手賀沼処理区
総便益(B)	7,735 億円
総費用(C)	5,116 億円
費用便益比(B/C)	1.5

指標2 事業の進捗状況(手賀沼処理区)

処理区名	手賀沼処理区
指 標	状 況
事業進捗の状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画4,992haに対して4,058haを整備し、整備率は81%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は91%である。
地元情勢等	地元住民の理解・協力は得られている。

指標3 社会経済情勢等(手賀沼処理区)

処理区名	手賀沼処理区
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(手賀沼処理区)

処理区名	手賀沼処理区
指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤碎石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適である。

対応方針(手賀沼処理区)案

柏市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

柏市公共下水道事業再々評価

(江戸川左岸処理区)

平成20年11月

千葉県 柏市

柏市の概要(1)

- 本市は、千葉県の北西部に位置し、千葉市から約30km・東京から約30kmにある。
- 北部には利根川や利根運河、東部には手賀沼そして中央部には大堀川・大津川があり水が豊富である。



柏市の概要(2)



事業の必要性(江戸川左岸処理区)

- 居住環境の改善
身近な水路に汚れた排水が流れ込まず, 良好な町並みが形成されます
トイレが水洗化され, 衛生的で快適な生活が実現します
- 公共用水域の水質保全
江戸川や東京湾等の水質がきれいになります

柏市公共下水道の事業概要(江戸川左岸処理区)



指標1 費用効果分析(江戸川左岸処理区)

処 理 区 名	江戸川左岸処理区
総 便 益 (B)	365 億円
総 費 用 (C)	243 億円
費用便益比 (B/C)	1.5

指標2 事業の進捗状況(江戸川左岸処理区)

処理区名	江戸川左岸処理区
指 標	状 況
事業進捗の状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画244haに対して212haを整備し、整備率は87%である。
供用開始区域の接続状況	接続率は82%である。
地元情勢等	地元住民の理解・協力は得られている。

指標3 社会経済情勢等(江戸川左岸処理区)

処理区名	江戸川左岸処理区
指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にはない。
自然環境条件	水質汚濁に係る水質環境基準の新たな設定等、下水道事業に影響のある要因はない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減・代替案(江戸川左岸処理区)

処理区名	江戸川左岸処理区
指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。
代替案	本市の市街化の状況から、代替としての浄化槽整備よりも、下水道整備が最適である。

対応方針(江戸川左岸処理区)案

柏市公共下水道事業は順調に進展しており、今後も順調な進展が見込まれることから、当事業を継続していく方針です。

柏市公共下水道事業再々評価

(雨 水)

平成20年11月

千葉県 柏市

柏市の概要(1)

- 本市は、千葉県の北西部に位置し、千葉市から約30km・東京から約30kmにある。
- 北部には利根川や利根運河、東部には手賀沼そして中央部には大堀川・大津川があり水が豊富である。



柏市の概要(2)



事業の必要性(雨水)

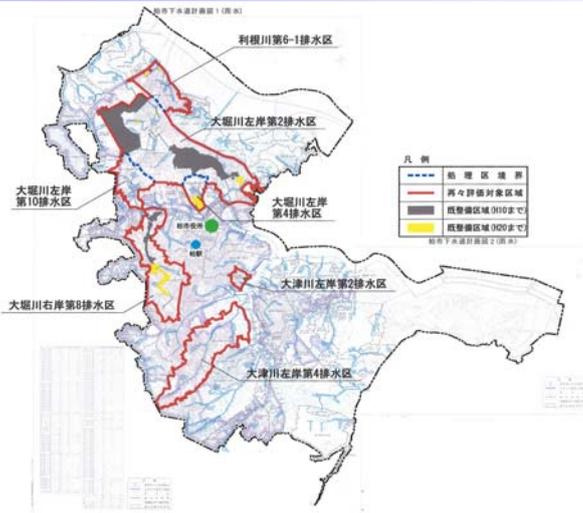
- 浸水による被害から市民の安全と財産を守る



(写真: 南柏・増尾地区)



柏市公共下水道の事業概要(雨水)



指標1 費用効果分析(雨水)

総 便 益 (B)	1,572 億円
総 費 用 (C)	489 億円
費用便益比 (B/C)	2.2~4.8

指標2 事業の進捗状況(雨水)

指 標	状 況
事業進捗の状況	平成20年度末時点の整備面積見込みは、事業計画1,920haに対して336haを整備し、整備率は18%である。
地元情勢等	地元住民の理解・協力は得られている。

指標3 社会経済情勢等(雨水)

指 標	状 況
社会経済情勢	新たな開発等もなく、下水道事業に影響のある大きな社会経済情勢の変化は特にない。
計画変更の有無及びその程度	全体計画及び事業計画について、必要に応じ適切に見直している。

指標4 コスト縮減(雨水)

指 標	状 況
コスト縮減	アスファルト合材・路盤砕石等再生資材の利用によりコスト縮減に努めている。

対応方針(雨水)案

柏市公共下水道事業については、今後も引き続き整備が必要であることから、当事業を継続していく方針です。